

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 2025年

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	1	08	水	9:00	13:00	五味ヶ谷の森/東市民CNT	17名
活動名称	五味ヶ谷の森での安全祈願と勉強会・新年会						報告者:石川・井上

<活動目的>

- ① 今年一年の無事故祈願
- ② 市民の森制度等の勉強会（急減する市民の森の現状と、残存する森の確保対策）
- ③ 餅入りお汁粉で新年を祝う

<主な活動内容>

○五味ヶ谷の森に隣接した武蔵野御岳神社で今年一年の無事故を祈願するとともに、ご神木と定めるけやきの木にお神酒を注ぎました。その後、東市民センターにて市民の森制度について学び、当クラブの現状認識を踏まえ今後の課題点について話し合いました。

○里山サポートの新年会は、今年はお汁粉とお餅でお腹を満たしました。お汁粉は柏木さんの手作り、これに石川さんのゆずだいこんとたくあんが加わりより一層美味しく頂くことができました。例年は焼き芋を頬張っていましたが、今回は焚火を囲みながらできればいいなと思いました。

○最後に、新年に寄せる想いを発表していただき、各メンバーの想いを共有しました。

(集合写真) ※五味ヶ谷の森で



<参加者>

- (後列) 吉井、柳川、小沼、阿部、小澤邦、橋本、金、松井、杉山
 (前列) 牛島、浜端、阿部、石川 (写真外) 村上、柏木、笹崎、井上 (計17名)

(ご神木予定樺の前でお神酒を注ぐ)



(全員で順番に輪くぐり)



(和室での勉強会と新年会)



<課題・評価>

- ・パンフレット「市民の森」の問題と課題に基づき里山の現状と課題点を学習し、これを解決していくための制度や考え方を共有しました。結論的には、今後とも次世代へ森の大切さを引き継いでいくためには、もっと積極的に地主とのコミュニケーションを図っていくことが重要であることを確認しました。このための一つの手立てとして、地主や関係者に、既に18号まで発行している機関誌や、活動記録等で森が有効利用されていること知らしめるため、配信していくことの必要性を共有しました。

<お誘い>

◎ “絵本「つるがしま物語」作者を迎えての講演・意見交換会”

1月25日(土) 14:00~15:30 於：南市民センター 参加費無料 150名先着順

◎ “藻谷浩介講演会” 演題：里山資本主義のその後と坂戸のまちづくり

1月25日(土) 13:30~15:30 於：坂戸市入西交流センター 参加費無料 定員300名

主催：NPO 法人一二三の会設立10周年記念事業

以上